

(解答例)

投資は、単に自らの資産を増やす手段にとどまらず、経済活動を支える重要な役割を担っている。私は、投資の意義について、①個人の資産形成、②企業や社会の発展、③持続可能な未来の実現という三つの観点から考えたい。

第一に、投資は将来に備えるための資産形成の手段である。低金利が長期化する現代において、預貯金だけで資産を増やすことは難しい。しかし、株式や債券、投資信託など多様な資産に分散して長期的に投資することで、リスクを抑えながら安定した資産の成長が期待できる。これにより、老後の生活資金やライフイベントへの備えが可能となり、経済的な自立を実現できる。さらに、計画的に資産を運用することで、将来に対する不安を軽減し、精神的な安心感を得ることができる。

第二に、投資は企業や政府の活動を支え、社会全体の経済発展を促す重要な力となる。個人が株式や社債に投資することで、企業はその資金をもとに新規事業を展開し、技術革新や雇用創出を進めることができる。また、政府も国債を通じて資金を調達し、社会保障や公共事業を充実させることができる。投資によって循環する資金は、経済成長を支える血液として機能し、人々の暮らしを豊かにする。

第三に、近年は社会的課題の解決を目指す投資が注目を集めている。課題文に示されるように、地域の課題に対し、市民一人ひとり投資を通じて関与できることは投資の魅力の一つである。また、SDGsが掲げるように、グローバルの課題解決には投資の力が不可欠である。こうした投資は単なる利益追求にとどまらず、持続可能な未来を実現するための社会的役割を果たしている。

投資は、自身の資産を形成しながら、企業の成長や社会の発展、ひいては持続可能な未来の実現に貢献できる行為である。私は、経済的リターンと社会的リターンを両立させる点こそが、投資の本質的な意義であると考えます。(776字)

(評価のポイント)

本問では、課題文の読解を通じて、投資に対する理解を単なる個人の資産形成にとどめず、社会全体との関わりから捉えることを期待しています。投資が経済活動を支える意義や、投資を通じた社会的課題解決の意義に言及しているかが評価のポイントとなります。